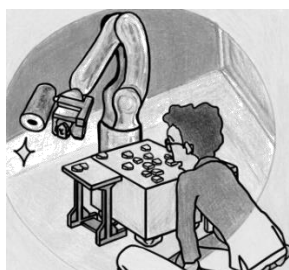


解剖学者の養老孟司氏とノンフィクション作家の高橋秀実氏の対談に「いくら理不尽でも、妻から言われたことに夫が口ごたえすると大変なことになる。結局、聞き流すほうがいい」とありました。決めのセリフは「奥様のおっしゃる通りでございます」。人間をよく知る二人の専門家の意見には説得力がありますね（笑）。

知っとこ! 「税務のマメ知識」

【研究開発税制を活用して競争力の強化を!】

研究開発投資を増やして企業競争力を高めることなどを目的に、研究開発税制が見直しされました。改正前は「総額型」「増加型」「高水準型」「オープンイノベーション型」の4つに分かれていましたが、その中の「増加型」と「高水準型」は平成28年度末までの時限措置でした。改正後は「増加型」が「総額型」に組み込まれ、「高水準型」は適用期限が2年間延長され、「総額型」「高水準型」「オープンイノベーション型」の3つになりました。「総額型」の税額控除率は、試験研究費の増減に応じて6~14%（中小法人は12~17%）に拡充されました。控除限度額も一定の要件を満たした場合、従来の法人税額の25%に0~10%の上乗せが可能になりましたが、高水準型との選択制となります。ただしどちら



の上乗せも2年間の時限措置となります（税額控除率については一定率以上）。また「オープンイノベーション型」は手続きの見直しにより使い勝手の向上が図られています。近年では、IoTやビッグデータ、人工知能などを活用した「第4次産業革命」が進展しています。これらの技術を活用する新たな

ビジネス開発を後押しするために、これまでの製造業による「モノ作りの研究開発」に加えて、ビッグデータなどを活用した第4次産業革命型の「サービスの開発」が試験研究費の定義に追加されました。

今を生きる 先人の言葉

私達の財産、それは
私達の頭の中にあります

オーストリアの音楽家であるモーツァルトの言葉。金品はあの世へは持って行けない。使えば使うほど増えて後世にも残せる財産、それは皆、絶えず携帯している。

スタッフコーナー 担当：藤井 亜紀子

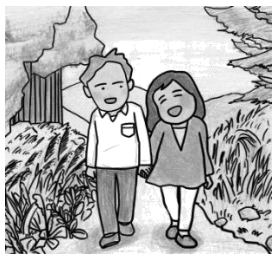
我が家でうさぎを飼い始めもうすぐ2年が経ちます。種類はネザーランド・ドワーフと言いまして、うさぎ科アナウサギ属の小型のうさぎです。ピーターラビットのモデルになっているうさぎで大人になっても9キロぐらいにしかならず顔も童顔なところが人気のようです。飼い始める前にうさぎカフェめぐりをしたりしてお気に入りのうさぎを調査して娘が決めた種類です。それから、春日部にうさうさラビトリーと言う、うさぎの専門店をインターネットで見つけそこまで買いに行きました。うさぎのブリダーなのでペットショップよりも安く買えますし、うさぎに詳しいお兄さんがいつもいるので爪切りや相談にもものってくれます。我が家のうさぎは薄茶の雄で『ココロン』と名付けました。HPをみると生まれたばかりの赤ちゃんがたくさん載っていますのでご覧になってください。耳や顔を毛づくろいする姿は本当にかわいく、始まると気づかれぬようにそっと見守っています。短いしっぽとコロんとしたおしりもかわいいです。寂しがりで、帰宅すると嬉しそうにゲージの中をくるくる駆け回ります。可愛い家族が増えて毎日癒されています。



365日が楽しくてたまらない! 『商売のヒント』

今月の商売のヒント：【聞くときは心を込めて】

商売の極意を尋ねられて「聞くこと」と答えたのは、ベテラン経営者のT氏です。極意のきっかけは、その昔、夫婦で泊まった温泉宿とのこと。その宿は人里離れた場所に一軒だけぽつんとある民家のような旅館で、予約の電話をしたときに部屋にテレビがないと聞かされたときは「夫婦二人で間が持つだろうか」と心配になったそうです。ところが行ってみればなんてことはなく、遠くから聞こえるホトトギスの声、山里を吹き抜ける風の音、その風が木々を揺らせばサワサワと葉音が鳴り、夜は夜で耳を澄ませば「静けさ」という音が聞こえてくるようで、今までにないくらい心休まるひとときだったといえます。何よりの発見は「奥さんの声」だったそうです。普段はテレビに奪われていた耳を奥さんに向けたことで「この人はこんな声だったのか」と改めてしみじみしたのだとか。そのせいか、いつもなら何となく聞き流す奥さんの話を、その夜は耳を傾ける気持ちで聞いたそうです。「そしたら不思議なんだけど奥さんの表情がやわらかくなって。そうなるとこっちも笑顔になるから自然と会話が弾んでね。翌朝には恥ずかしながら手をつないで朝の散歩を楽しんだよ」。散歩の途中、いつもより優しい声で話している自分に気付いたT氏は、いつもより晴れやかな笑顔を向ける奥さんを見て思ったそうです。自分は今までどんな態度でお客さまの話を聞いてきただろう。どんな風にお客さまに話し掛けてきたらう——。



詩人の山崎佳代子氏はかつて、講演でこんな話をされました。「声は人の魂を結びつける。声を出すときはみんなに届くように出し、声を聴くときは心を込めて聴く。この二つが欠けると社会はほころびる」。伝えたいことがお客さまに届くように話し、心を込めてお客さまの話に耳を傾ける。この二つが欠けると商売もほころびてくるかもしれません。話したり聞いたりするのは毎日のことです。どんな態度で、どんな心持ちで行うか、それが大事なのではないのでしょうか。

編集後記

今年の夏の甲子園は埼玉県代表の花咲徳栄高校の優勝で幕を閉じました。夏の甲子園は第99回を数える歴史ある大会ですが、埼玉県代表校が優勝するのは史上初のことでした。今年は広陵高校の中村選手がああ清原の大記録を塗り替えるといったことが大きな話題となりましたが、個人的にはたった1球で試合の流れが大きく変わり大逆転劇が起こった試合が数多くあった大会で野球の怖さ野球の面白さを改めて感じる事が出来ました。さて、初優勝の快挙を成し遂げた花咲徳栄高校野球部にも当然県外から野球留学している選手がいます。中には選手のほとんどが県外なんていう私学もあります。今大会公立校の出場は49代表のうち史上最少の8校でした。内ベスト8まで勝ち残ったのがたったの1校です。甲子園に出ることそこで勝つことはそう簡単なことではありません。だからこそ公立校は応援したくなります。一方で野球特待生を多く抱える私学を批判的に考える人もいます。私はそうは思いません。わずか15歳で親元を離れ色々なものを捨て一つの目標に向かって死に物狂いで3年間努力し続けると決断した子供、そしてそれに賛同した親も私はすごいと思います。試合だけではなく甲子園へたどり着くまでにも色々なドラマがあります。だからこそ毎年80万人もの観客が集まりここまで続いた大会なのだと思います。来年はいよいよ第100回の記念大会です。ミレニアム世代と言われる今の2年生には才能豊かな選手もたくさんいますので非常に楽しみです。

お知らせ 詳細はお問い合わせください！

- 役所から書類が届いた場合には中身をご確認いただき、なるべくお早めにご連絡下さい。
- 税務調査の季節です。税務署からの電話には弊所をまず通すようにお伝え下さい。
- 「保険管理ファイル」無料で作成いたします。
- ご意見・ご感想等をお待ちしております。

本田税理士事務所

〒335-0002

埼玉県蕨市中央3-27-7 1F

電話：048-431-2771

FAX：048-431-2786

<http://www.zeirishi-honda.jp>